

学校（自己）評価（令和4年度）

1・本園の教育目標

- ① 心身ともに逞しい子どもの育成
- ② おおらかで、明るい子どもの育成
- ③ 知性豊かで、賢い子どもの育成

〒901-0301
 ・沖縄県糸満市字阿波根 746 番地
 ・学校法人 津山学園
 ・認定こども園 津山幼稚園
 ・TEL 098-994-6714

2・令和4年度主要目標

- 1・本園教育目標の達成に努力する。
- 2・文部科学省幼稚園教育要領を踏まえ、本園の特色（動き・リズム・言葉感覚）を加味し、豊かな人間性の根っこを培うよう努力する。
- 3・令和4年度の保育行事計画を設定し、年間、学期、月別に活力に満ちた保育を実践し、子どもたちの健やかな成長を育む。
- 4・幼児の発達に寄り添い、専門・関係機関等と連携しながら指導に当たる。
- 5・園教育目標の実現に向けて職員間で相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。
- 6・指導力の向上を目指して、内・外研修に参加し、幼児教育に対する専門性を高める。

3・評価項目の取組状況及び達成度

（達成度 4：十分達成、3：ほぼ達成、2：やや達成していない、1：達成していない）

評価項目	取組状況（○成果 ▲課題）	達成度
1・本園教育目標の達成に努力する。	○計画的に外部から招聘した音楽の専門家から学びながら共に指導に当たった。 ○総幼研の研修の活用を図った。 ○教育目標の実施に向けて職員間での相互理解のために情報伝達ツールの活用ができた。 ▲今年度もコロナの影響により、計画の見直しが必要な場面が多かった。次年度は、コロナ禍が開けた教育計画の実施が必要。	3.1
2・文部科学省幼稚園教育要領を踏まえ、本園の特色（動き、リズム、言語感覚）を加味して豊かな人間性の根っこを培うよう努力する。	○豊かな人間性の根っこを培うために、幼児期の終わりまでに育ててほしい姿を確認しながら教育を推進し内容の精選、充実を図った。 ▲次年度は「動」きについて、計画、教育内容の見直しが必要と考えられる。	3.1
3・令和4年度の保育行事計画を設定し、年間、学期、月別に活力に満ちた保育を実践し、子どもたちの健やかな成長を育む。	○園児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮し、園の方針を指導計画や保育計画に活かすことができた。 ▲英語の時数が週1時間から2時間に増えたことに伴い、他の活動の計画の見直しが必要であった。	3.1

4・幼児の発達に寄り添い、専門・関係機関等と連携しながら指導に当たる。	○園児の姿を家庭での生活を踏まえながら、一人ひとりをよく観察することで理解を深めることができた。また、保護者に園での様子を電話、連絡帳などを綿密に伝えあうことができた。 ○園児個々の良さを認め、クラスに関係なく職員全体で適切な指導や対応を行うことができた。	3.6
5・園教育目標の実現に向けて職員間で相互理解に努め、調整・連携して職務に取り組む。	○園児のささやかな成長の理解や喜びを職員全体で共有することができた。 ○報告、連絡、調整、連携をして職務に取り組んでいる。情報管理、伝達ツールの活用が図られた。	3.8
6・指導力の向上を目指して、内外研修に参加し、幼児教育に対する専門性を高める。	○リモートでの研修参加が減り、園外研修の機会が増え参加することができた。 ▲教師同士が共に学び合える環境と風土の構築をさらに推進するために、OJTの計画的な実施、内外研修の周知、参加を行い教師としての専門性を高める。	3.0

4・自己評価の総合的な評価結果

<p>幼児教育の本旨を踏まえ、自園の教育目標達成を目指して全職員が取り組んだ。幼稚園教育要領に則りながら、本園の特色を活かせるよう指導計画を立てて、よりよい教育を追求した。行事に関しては、新型コロナ感染防止のために計画の変更・内容の精選が必要な場面があったが、概ね計画通り実施ができて成果を挙げることが出来た。全体として保護者の多大な協力も得ながら概ね目標の達成を図ることができた。今年度の課題を踏まえ具体的な改善方法についての考察、教師間での共通理解を図っていきたい。</p>	3.3
---	-----

5・今年度の課題と具体的改善方法

課題	具体的な改善方法
・本園教育目標の達成、特色ある教育の実施	・日課や本園の特色ある教育の実施に向けて、ポストコロナの教育計画の確認、見直しを行う。
・内外研修会や研究会に参加し、教育の専門性を高める。	・教師が共に専門性を高めることができるよう、日々の教育活動の中で、計画的・効果的なOJTの時間を設定、実施していく。
・協働を円滑に行うための情報の共有方法について	・情報管理、伝達ツールでの確認内容と職員会議、管理者会議の提案・確認内容とが集約され一本化される環境を構築することで更なる情報の共有を図る。

6・財務状況・その他

<p>・公認会計士による監査を受け、適正に管理・運用しているとの評価を得ています。</p>

令和4年度 学校関係者評価

【評価者】

学校法人津山学園 理事（1名） 監事（1名） 評議員（1名）
津山幼稚園 保護者代表者（1名）

【評価基準】

- 4・・・十分達成
- 3・・・ほぼ達成
- 2・・・やや達成していない
- 1・・・達成していない

評価項目		評価欄
【評価項目・評価】		
1	園全体の雰囲気は明るく活気があるか。	4
2	園の教育・保育活動について共感できるか。	3.8
3	教育・保育活動は、園児や地域の実態に沿った適切な内容となっているか。	3.8
4	園では、特色のある教育・保育活動を行い、その成果を上げているか。	3.5
5	子育て支援事業は、充実しているか。	3.3
6	遊具・玩具・絵本等が整備されているか。	3.5
7	園内外の清掃などの環境整備が行き届いているか。	4
8	園の園児は、仲良く楽しく園生活を送っているか。	3.8
9	園児は、落ち着いて生活しているか。	3.5
10	園児は、園行事(運動会・発表会など)に生き生きと取り組んでいるか。	3.3
11	職員は、地域の方に対して社会人として常識ある言動で接しているか。	4
12	防災・防犯に対する取り組みを十分に行っているか。	3.5

【備考】

--

令和4年度 学校関係者評価委員会まとめ

1. 日時：令和5年3月16日14:00～
2. 参加者：上原寿美（理事）、島袋盛一（監事）、吉川昌孝（保護者代表）、津嘉山毅（理事長）、新垣安信（事務局次長）、新城貴子（園長）
欠席者：小柳津綾乃（評議員）、
3. 会順（別紙1）
4. 資料（別紙1）
5. 質疑と応答
 - Q:1. 園バスに園児置き去りについて全国的に指摘されているが、対策はどうなっているか。
 - A:1. 「津山幼稚園バス運行マニュアル」を令和4年9月に改正して現在実施している。万が一置き去りがあった場合の対策として園児がバスのクラクションを鳴らして外部に知らせる訓練を保護者を交えて実施した。
 - Q:2. 保護者送迎時の車両出入りについて独自のルールを設けて、保護者に発信しているか。
 - A:2. 安全な乗降及び登園が出来るよう駐車場の確保をして、保護者に周知している。行事等において、車両台数が増える際には再度駐車場案内及び安全の呼びかけを行っている。
 - Q:3. 防災訓練を実施しているか。
 - A:3. 避難訓練（火災・地震・津波）を実施している。また、職員研修として消火訓練・AED使用訓練・食物アレルギー対応研修を実施している。
6. 評価委員からの意見・感想
 - ・ 学校評価の結果から、先生方はよく頑張っていると思う。アプリ等のICTの導入・活用により先生方の多忙解消やゆとりの確保をして働き方改革を推進して欲しい。それがひいては子どもと向き合う時間の確保となっていくと思う。
 - 園では「おがスマ」のアプリを今年度から導入して出席管理や連絡等のやり取りをしている。保護者からも好評である。担任も出席管理が簡便になり、業務改善に繋がっている。
 - ・ お便り帳は、使用しているか。子どもの成長記録・思い出にもなるので、残して欲しい。
 - 園では、園児が自ら出席欄にシールを貼って励みにしている等の効果もあるため、現在も使用している。
 - ・ 職員の更に研修へ参加したいという意欲が感じられてすばらしい。職員が学ぶことが園児の学ぶ意欲に繋がっていくので、先生方の意欲を評価したい。
 - 来年度は、日常的な職員間の学び合い・研修が出来るようなシステムを構築していきたい。
 - ・ 園内に入ると同時にあいさつがあちらこちらから聞こえてきた。
 - ・ 英語の時間が1時間から2時間に増え、子どもたちが家庭でも英語で話したりすることがあり、驚いている。英語の時間が楽しいと子どもも話している。
 - ・ コロナ禍前は「ローテーション」という体育を実施していたので、復活をさせて欲しいと思う。
 - ・ 今年度はコロナ禍が明けて多くの行事が実施された。効果的な実施方法等を職員が検討して実施していた。園児は、練習は大変だったが、達成感が得られた。いつも子どもたちと楽しそうに過ごしている先生方の姿が印象的だった。先生方が元気。子どもたちが楽しくのびのびと子どもらしく過ごせたことが何よりも嬉しかった。
 - ・ 卒園のプレゼント作りに参加した保護者から、もっと子どもたちと関わりたかったという声があった。多くの保護者が気軽に参加できて楽しく保護者会運営ができるよう工夫していきたいと思う。

令和4年度 外部評価委員会まとめ

1. 日時：令和5年3月16日17:00～
2. 参加者：津嘉山毅（理事長）、新垣安信（事務局次長）、新城貴子（園長）、
山田浩也（兼城小学校長）
3. 会順（別紙1）
4. 資料（別紙1）
5. 外部評価委員からの感想・助言
 - ・ コロナ禍において、感染症対策のために鍵盤ハーモニカから電子キーボードに切り替えて音楽の学習を推進したり、運動会や発表会を園庭や園のホールで規模を縮小しながら実施するなど、出来ることを取り組んで行こうという園の姿勢や工夫が良いと思う。
 - ・ 英語の時間が1時間から2時間に増えたということであるが、英語の授業は英語の先生と担任で実施するのなら、1時間はOJTに充てる等、園の実情に合わせてOJTの時間を見いだす工夫をして運用してはどうかと思う。
 - ・ 職員の働き方改革として、2スクラップ1ビルドの視点で推進すると良いと思う。
 - ・ 内部評価の改善の方向性は良いと思う。
 - ・ 幼小連携においては、津山幼稚園は椅子に座って学ぶ等学習の構えが出来ている等、幼稚園教育と小学校教育とがなめらかに接続出来るよう取り組んでいると感じる。幼稚園での教育活動が小学校でも生かされるよう小学校でも取り組んでいきたい。